

記者発表資料  
平成24年 5月 14日  
水産業振興課  
担当者：千葉、小林 (2931,2930)

## 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う内水面魚種の出荷制限について

本日、原子力災害対策本部（内閣総理大臣）から、原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）第20条第3項に基づき、大倉川の大倉ダムより上流（支流を含む。）及び名取川の秋保大滝の上流（支流を含む。）において採捕されたイワナについて、当分の間、出荷を差し控えるよう指示されました。

このことから、下記のとおり関係漁業協同組合及び関係市に対し、イワナを採捕しないよう改めて要請しましたので、お知らせします。

なお、当該水域におけるイワナについては、宮城県の要請により、既に採捕が自粛されております。

### 記

#### 1 出荷制限指示の内容

- (1) 対象魚種           イワナ（養殖を除く）
- (2) 対象水域           仙台市青葉区大倉川の大倉ダムより上流（支流を含む）  
                          仙台市太白区名取川の秋保大滝の上流（支流を含む）  
                          （別紙参照）

#### 2 県の対応状況

- ・ 今回の指示に基づき、内水面漁業協同組合連合会、関係漁業協同組合及び関係市に対し、所属組合員や遊漁者に対象水域でイワナを採捕しないよう周知することを改めて要請した。
- ・ 周辺を含む河川において、今後ともイワナの検査を強化する。

※ 今回の指示は、4月14日に仙台市青葉区大倉の横川で採取されたイワナから198ベクレル/kg（4月19日公表）、4月25日に仙台市太白区秋保二口の名取川で採取されたイワナから250ベクレル/kg（5月10日公表）が検出されたことを踏まえたもの。

